かけはし

令和２年９月号
高松市立
男木小・中学校

「今年は特別な夏休みでした」

今年の夏休みは新型コロナウイルス感染症対策のため、例年とは違う特別なものとなりました。夏休みの短縮、プール開放や様々な行事の中止等、子どもたちにとって楽しみが少なかった夏だったのではないでしょうか。また、８月１７日には高松での最高気温が38.3℃と歴代２位を記録するなど、猛暑の夏でもありました。そんな今年の夏でしたが８月２０日（木）から２学期が始まり、子どもたちは元気に登校しています。６月に２名が転出し、現在、小学生が３名、中学生が１名の計４名になっていますが、男木小・中学校だからこそできる教育を教職員一同、一丸となってがんばっています。　　校長　溝渕　浩二

月中行事

＜8月＞

２０（木）	２学期始業式、PTA環境整備
２６（水）	図書館指導員来校、ＳＣ来校
	学校保健委員会
２７（木）	第１回学校運営協議会
２８（金）	児童生徒会

＜9月＞

１（火）	全校集会
２（水）	図書館指導員来校
９（水）	図書館指導員来校
１０（木）	諸費集金日
１４（月）	ＳＳＷ来校
１５（火）	中央図書館読み聞かせ③
１６（水）	中間テスト発表、ＳＣ来校
	図書館指導員来校
	スクールガードリーダー来校
１７（木）	クラブ活動
２３（水）	中間テスト①
２４（木）	中間テスト②
２５（金）	中間テスト③
２８（月）	秋の校外学習

コラム －熱中症－

先日、エアコンをつけているにもかかわらず、部屋の中の温度がなかなか下がらないという経験をしました。一昔前と比べて、夏の温度が高いことが一因なのかと思います。そんな中でいると、ふと視野が暗くなりました。あれおかしいなと思っていると、力が入らなくなってきました。なんと熱中症だったのです。常にマスクを付けていたということもあり、体の熱さや喉の渇きなどの自覚症状はありませんでした。幸い、すぐに水分と塩分を補給し、横になっていると回復してきました。

大丈夫と思っていても、環境や体調は日によって違います。さらに感染症予防のためマスクで過ごすことも日常になってきました。新生活様式と言われていますが、主体的に自分の体のことを気にかけ、防げる病気は防いでいかないといけません。そしてできれば、周りの人の体調にも気を配って、声をかけ合っていくことが、予防には大切だと身をもって思い知った今年の出来事でした。

生活目標　生活リズムを整えよう。

学校生活の出来事

七夕かるた

新型コロナウイルス感染症の影響で七夕集会が中止になったため、今年は７月７日（火）に七夕かるた大会を行いました。職員も一緒になって、全校生でかるたを取り合いました。体育館中を走り回って探したため、思わぬ運動になりました。ちなみに、この大きなかるたは石川先生の力作です。

校外学習

７月22日（水）、小学校３年生が校外学習で、ミニストップ、高松駅、クレメントホテル、マルナカ、kiosk、玉藻公園を見学しました。働いている人にインタビューしたり、普段は入れないような所を見学させてもらったりして、貴重な経験になりました。

２学期には調べたことをまとめて、みんなに発表するようです。

お楽しみ会

７月30日（木）に全校生で夏休み前のお楽しみ会をしました。「箱の中身は何でしょな？」ゲームでは、何が入っているのかドキドキしながら手を入れる姿がおかしかったです。

お絵かきリレーでは、たくさんの名画が誕生しました。中でも教頭先生の特徴を捉えた絵は、みんなから大絶賛でした。

宝探しでは、先生方が出す課題を次々にクリアしていき、無事に宝を見つけることができました。全校生でいろいろなことができ、子どもたちも先生方も笑顔でいっぱいでした。